

第52期 報告書

自 2022年7月1日 至 2023年6月30日

KUDO NEWS

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第52期（2022年7月1日から2023年6月30日まで）の業績の概要と、当社の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役 **工藤 英司**

お客様の感動を創造する 生活舞台創造企業を 目指してまいります。

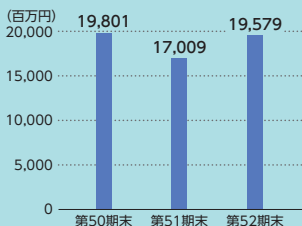
国内経済及び建設・住宅業界、介護業界について

当事業年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による影響の緩和と社会経済活動の正常化が進む中、雇用・所得環境に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な金融引締めが続く中、円安や物価上昇による家計や企業への影響、長引くウクライナ情勢や金融資本市場の変動等による下振れリスクを注視する必要があり、当社を取り巻く経営環境の不透明な状態が続いております。

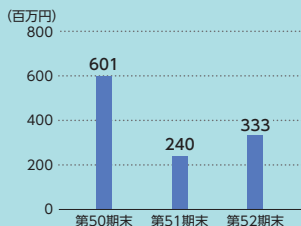
建設業界におきましては、公共投資は底堅い動きとなっており、建設投資についても徐々に持ち直しの傾向が見受けられるもの

財務ハイライト

● 売上高



● 営業利益



の、資材価格の高騰等による影響もあり、今後も建設需要やニーズの変化に対してより一層注視が必要な状況が続いております。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数は、持家においてはこのところ弱含んでおり、貸家及び分譲住宅の着工は底堅い動きとなっておりますが、世界的なインフレによる資材価格の高騰や調達難により、建築コストの上昇が続いております。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇等に伴い、社会インフラとしてサービスの安定供給が一層高まる中、介護事業者については、有効求人倍率が高い数値で推移しており、引き続き介護人材の確保と組織づくりが介護事業者の課題となっております。

■ 当事業年度の業績と次期の業績見通しについて

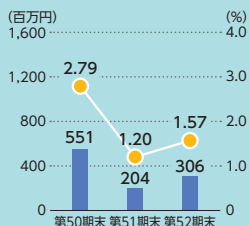
このような情勢の中、当社は、神奈川・東京を中心とした営業エリアにおいて、お客様の感動を創造し、人生のさまざまなステージを支える生活舞台創造企業を目指して事業展開を図ってまいりました。

この結果、当事業年度における業績は、売上高195億79百万円(前事業年度比15.1%増)、営業利益3億33百万円(前事業年度比38.8%増)、経常利益3億6百万円(前事業年度比50.4%増)、当期純利益1億35百万円(前事業年度比12.3%増)となりました。

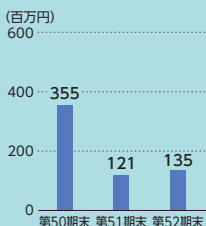
2024年6月期の業績予想に関しましては、売上高207億78百万円、営業利益3億71百万円、経常利益2億55百万円、当期純利益1億61百万円を予定しております。

2023年9月

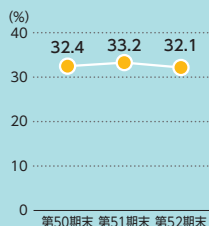
● 経常利益 / 売上高経常利益率



● 当期純利益

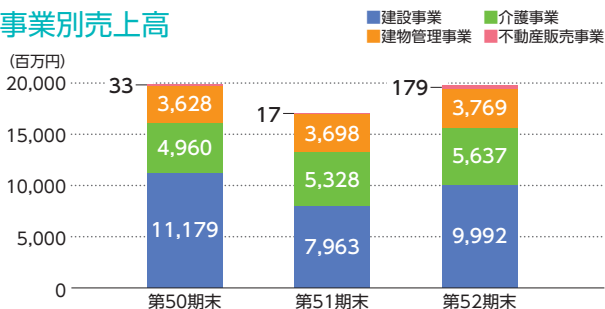


● 自己資本比率

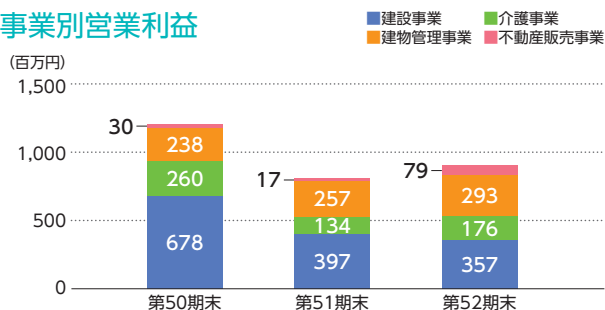


数字で見る工藤建設

事業別売上高



事業別営業利益



建設事業

売上高は、手持ち工事の順調な進捗により、99億92百万円(前事業年度比25.5%増)となり、営業利益は物価上昇等の影響により3億57百万円(前事業年度比10.1%減)となりました。

介護事業

売上高は、入居率の向上により、56億37百万円(前事業年度比5.8%増)となり、営業利益は1億76百万円(前事業年度比30.8%増)となりました。

建物管理事業

売上高は、手持ち大規模修繕工事の順調な進捗により、37億69百万円(前事業年度比1.9%増)となり、営業利益は2億93百万円(前事業年度比14.1%増)となりました。

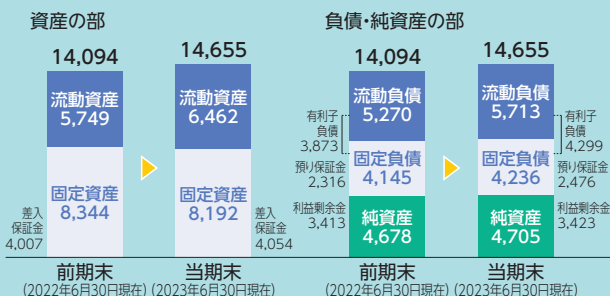
不動産販売事業

売上高は、事業用不動産の売却により1億79百万円となり、営業利益は79百万円となりました。

(参考：前年同期売上は仲介手数料のみ)

● 貸借対照表

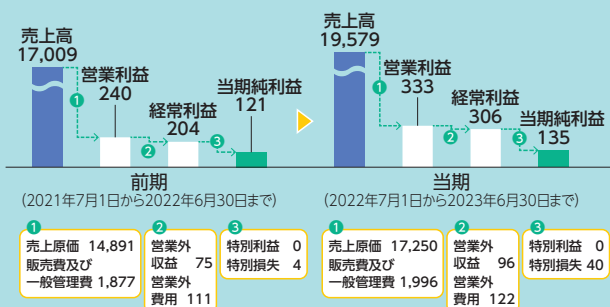
(単位:百万円)



資産の増加は、完成工事未収入金が5億11百万円、介護事業未収入金が1億5百万円増加したことにあり、一方負債の増加は、短期借入金が増加したことにあります。

● 損益計算書

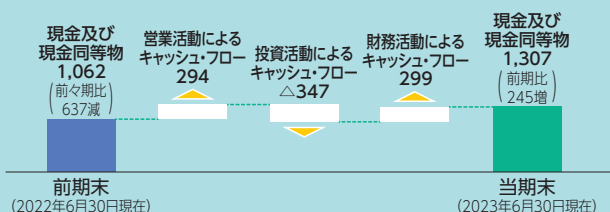
(単位:百万円)



売上高は、建設事業において、例年工事の完成引渡しが増加したため、第1、第2四半期会計期間に比べ下半期の売上高が著しく多くなるという季節的変動があります。

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



当事業年度において営業活動により増加した資金は、2億94百万円で、主な要因は不動産事業支出金の減少であります。投資活動により減少した資金は、3億47百万円で、主な要因は定期預金の増加であります。財務活動により増加した資金は、2億99百万円で、主な要因は短期借入金の増加であります。

会社概要

会社概要 (2023年6月30日現在)

商号	工藤建設株式会社
設立	1971年(昭和46年)7月1日
代表者の氏名	工藤 英司
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
従業員数	672名(男性305名、女性367名)

役員 (2023年9月30日現在)

代表取締役	工藤 英司	
常務取締役	工藤 隆晃	(経営管理部担当)
常務取締役	藤井 研児	(介護事業本部長)
常務取締役	田崎 功	(建設事業部長)
取締役	中山 仁	(住宅事業部長)
取締役	白坂 義道	(建物管理事業部長)
取締役	工藤 隆司	
取締役	内田 裕子	(社外取締役)
取締役	平沼 義幸	(社外取締役)
常勤監査役	庄司 盛弘	
監査役	苫米地 邦男	(社外監査役)
監査役	水上 亮比呂	(社外監査役)
執行役員	島山 靖浩	(住宅事業部設計部長)
執行役員	永野 淳	(建設事業部リノベーション営業部長兼東京支店長)
執行役員	川越 篤史	(建設事業部営業部長兼不動産開発室長)
執行役員	脇 正幸	(建設事業部工事部長)
執行役員	玉谷 博	(経営管理部長)

事業所

本社	神奈川県横浜市青葉区新石川4-33-10 TEL.045-911-5300(代表) FAX.045-911-3960
東京支店(建設事業部)	東京都港区芝5-5-2 原野ビル3F TEL.03-5419-1792 FAX.03-5419-1793
港北ニュータウン営業所 (建物管理事業部)	横浜市都筑区茅ヶ崎中央56-12 TEL.045-415-8001 FAX.045-415-8033
フローレンスケアたかつ	川崎市高津区久末1744-2
フローレンスケア美しが丘	横浜市青葉区美しが丘4-43-4
フローレンスケアたまプラーザ	川崎市宮前区犬蔵2-17-65
フローレンスケア港南台	横浜市港南区港南台6-5-13
フローレンスケア宿河原	川崎市多摩区宿河原6-12-29
フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘	東京都府中市日新町5-53-1
フローレンスケア芦花公園	東京都世田谷区南烏山2-32-28
フローレンスケア荻窪	東京都杉並区荻窪2-4-29
フローレンスケア横浜森の台	横浜市緑区森の台12-12
フローレンスケア宮前平	川崎市宮前区宮前平2-9-2
フローレンスケア溝の口	川崎市高津区下作延3-6-2
フローレンスケア調布	東京都調布市小島町1-16-3
フローレンスケア武蔵小杉	川崎市中原区今井上町8-24
フローレンスケア千鳥町	東京都大田区千鳥3-21-3
フローレンスケア川崎大師	川崎市川崎区昭和2-5-6
フローレンスケア鎌倉	鎌倉市岩瀬1-13-1
フローレンスホーム洋光台	横浜市磯子区洋光台3-24-26

株式情報

株式の状況 (2023年6月30日現在)

発行可能株式総数	4,400,000株
発行済株式の総数	1,331,220株
株主数	1,270名

大株主 (2023年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社トップ	557,100	41.84
工藤建設株式会社	80,795	6.06
工藤 英司	39,819	2.99
株式会社MOMOコーポレーション	39,700	2.98
株式会社横浜銀行	39,100	2.93
工藤 桂	33,500	2.51
武笠 清一郎	30,500	2.29
工藤建設従業員持株会	27,880	2.09
川本工業株式会社	18,060	1.35
八重沢 節子	15,700	1.17

当社ホームページのご案内

財務の詳しい内容やIR情報は、
当社ホームページからご確認いただけます。



株主メモ

事業年度	7月1日～翌年6月30日
期末配当金受領株主確定日	6月30日
中間配当金受領株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)

公告の方法

電子公告により行う。

公告掲載URL <https://www.kudo.co.jp/>

(ただし、電子公告による事が出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお手続きのお問い合わせ先

証券会社を ご利用の株主様	口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録 された株式を ご所有の株主様	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 ☎ 0120-232-711 受付時間／土・日・祝日を除く 9:00～17:00

配当金を配当金領収証でお受け取りの株主様

配当金は、銀行口座等でお受け取り出来ます。

配当金領収証により配当金を受け取っている株主様は、お受け取り方法を銀行口座等でのお受け取りに変更する事をお勧めいたします。銀行口座等への振込は、お受け取りの手間を省く事が出来、確実、かつ迅速に配当金を受け取る事が出来ます。

詳細は、口座を開設されている証券会社等までお問い合わせください。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。